

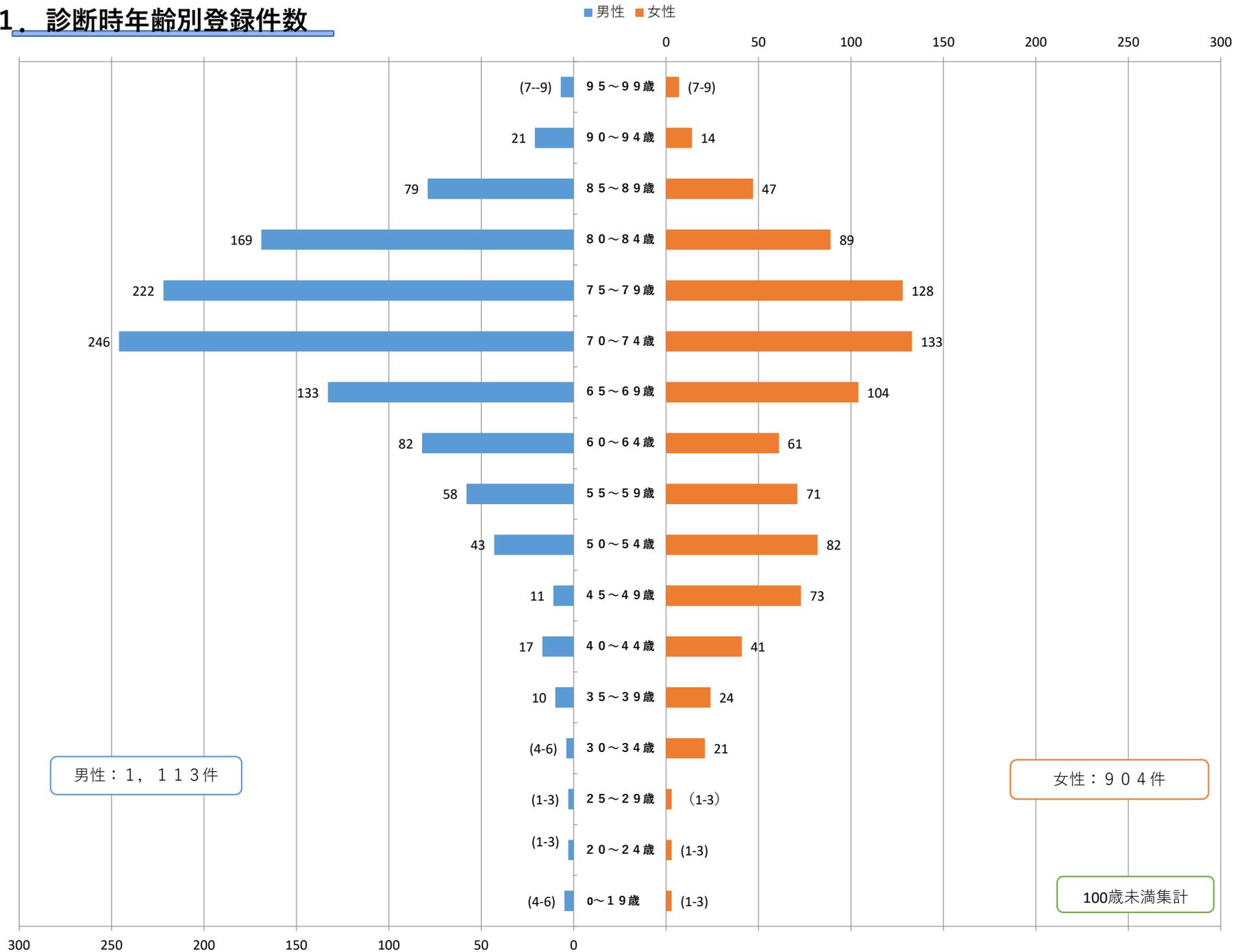
◆ 院内がん登録集計（2022年症例）

《集計の定義》

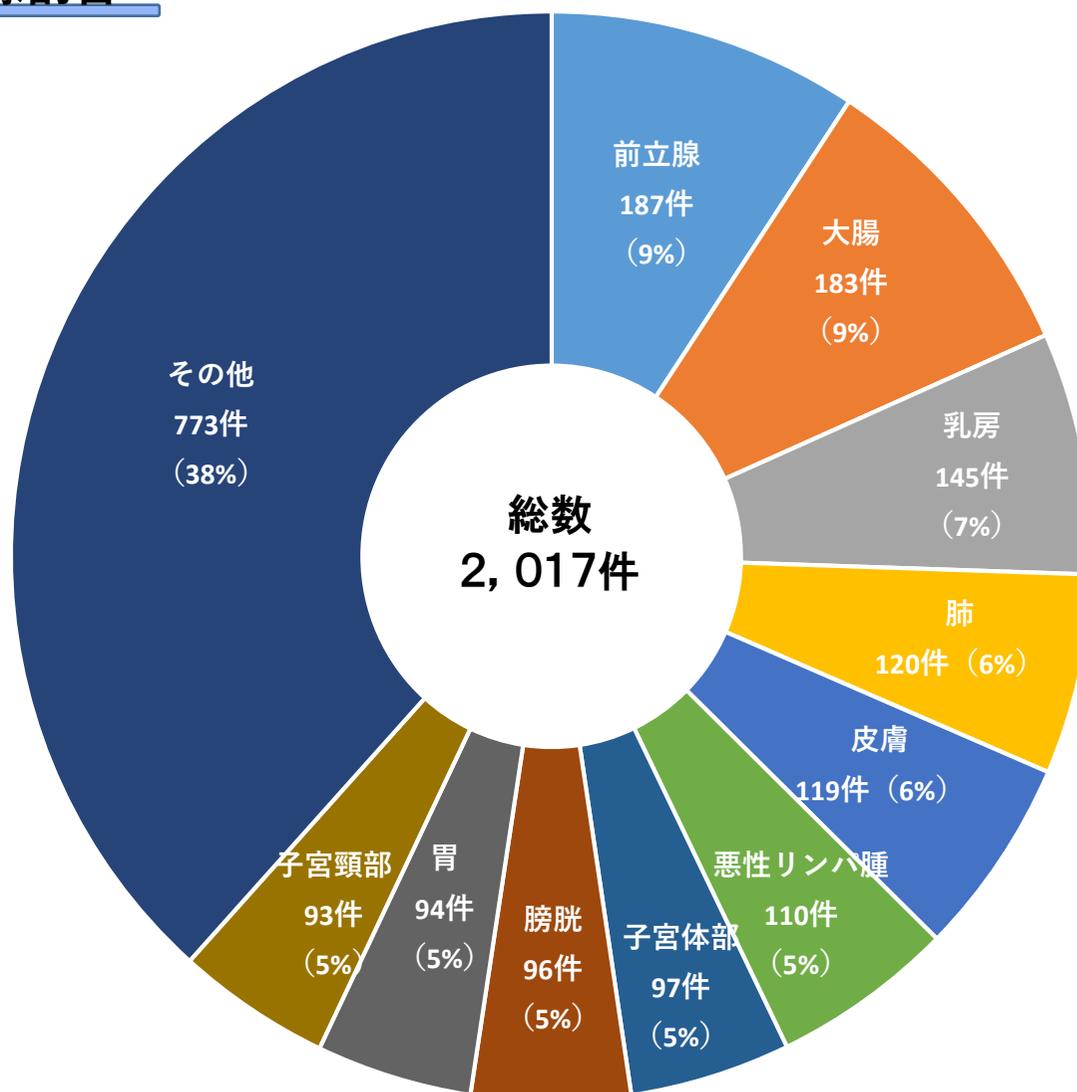
- ・当院でのがん確定診断例、または他施設でがんの確定診断を受け当院を受診した患者さんが対象です。
- ・2022年1月1日から12月31日の1年間の集計です。
- ・1腫瘍につき1件の登録です。（1人で2箇所のがんにかかった場合（重複がん）は2件の登録です。）
- ・登録済みのがんが転移、もしくは再発しても再度登録はしません。
- ・『国際疾病分類－腫瘍学－』における形態コードの性状コードが2（上皮内癌）もしくは3（悪性新生物）のものを登録対象とします。ただし、脳・脊髄・中枢神経系腫瘍、消化管間質腫瘍（GIST）、卵巣腫瘍の境界悪性など一部の性状コード1（性状不詳）もしくは0（良性腫瘍）も登録対象に含みます。

- 1.診断時年齢別登録件数
- 2.部位別登録割合
- 3.部位別・性別登録件数
- 4.治療前ステージ別・治療内訳
- 5.部位別治療件数

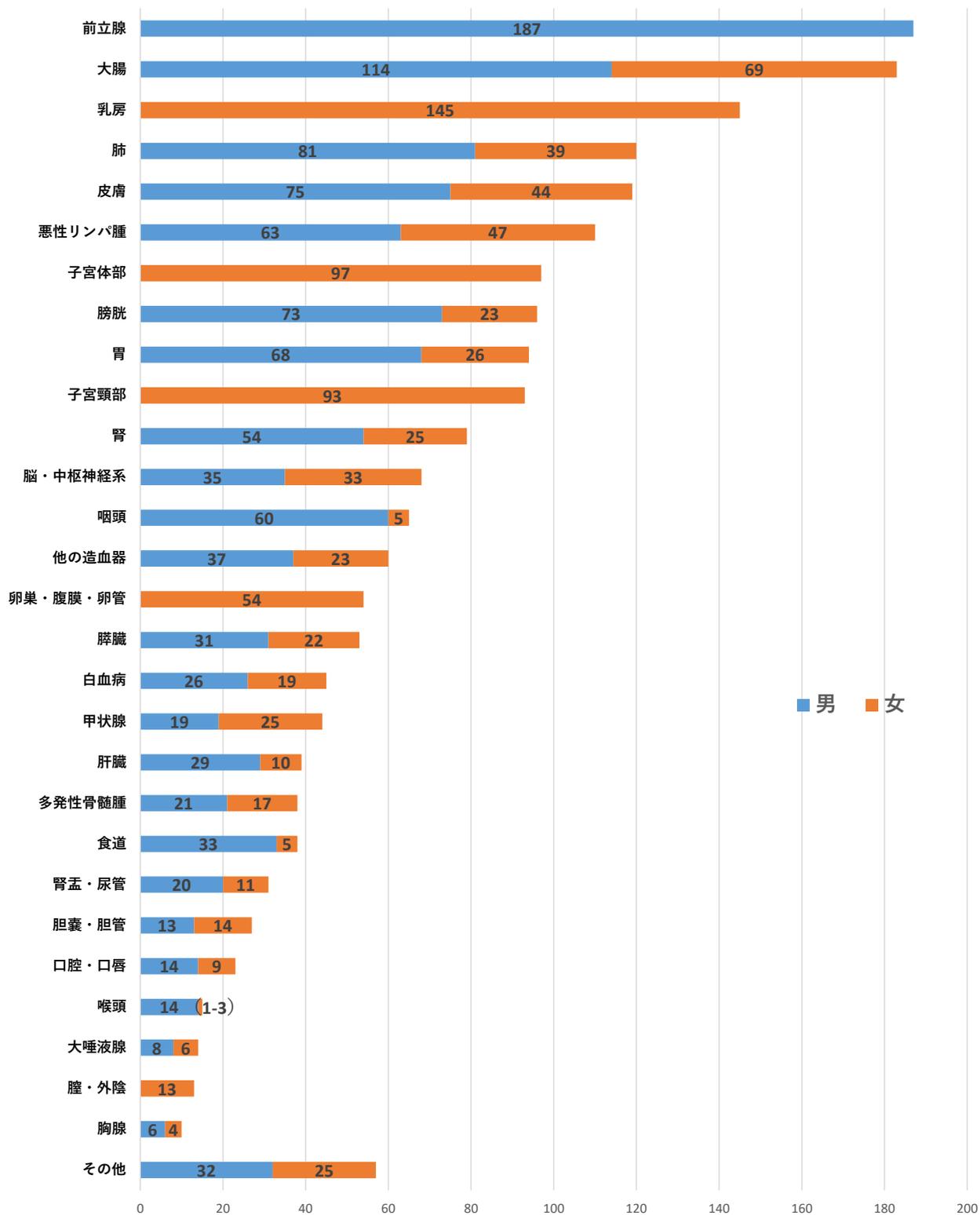
1. 診断時年齢別登録件数



2. 部位別登録割合



3. 部位別・性別登録件数



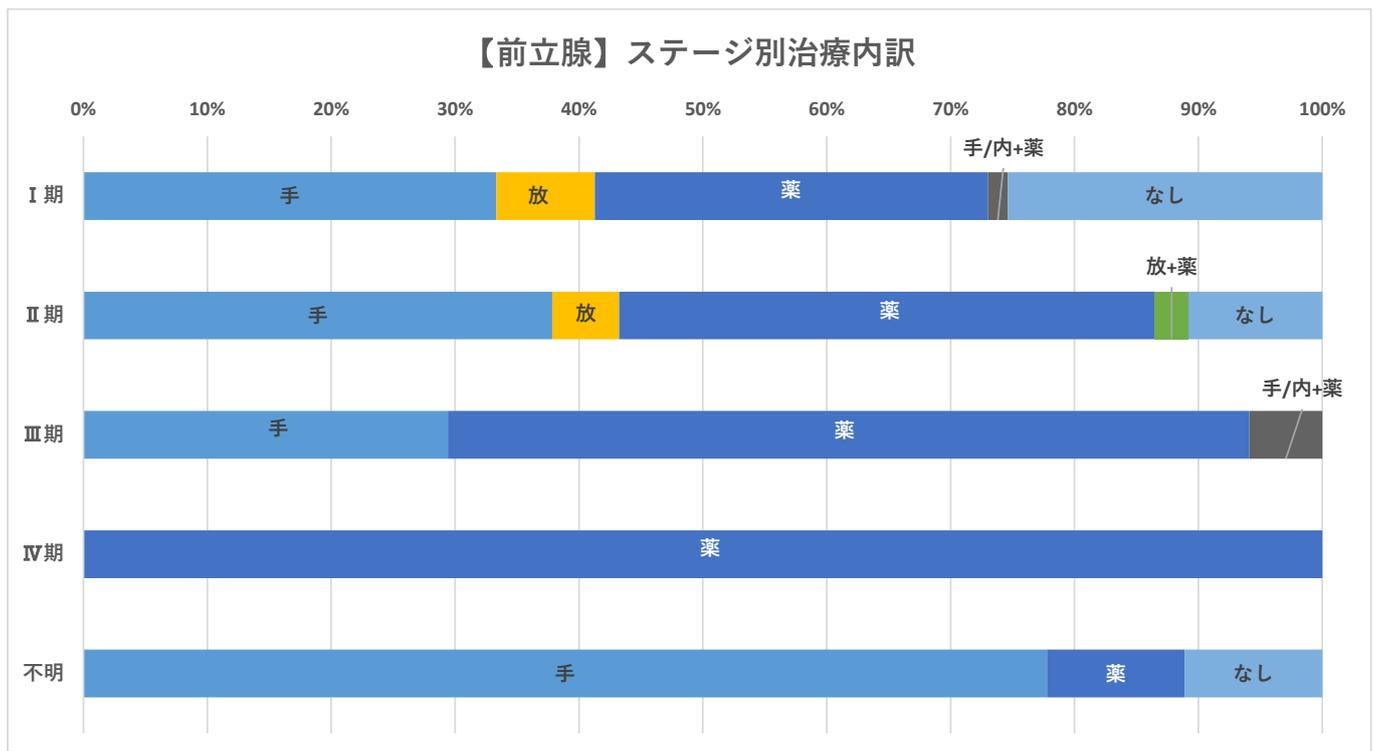
その他・・・原発不明、鼻腔・副鼻腔、腹膜、卵管、陰嚢、縦隔・胸膜、精巣、虫垂、小腸、副腎、肛門/肛門管、頸部癌発不明、眼球、骨・軟骨

4. 治療前ステージ別・治療別件数

* 当院で治療方針を決定・施行された症例

	治療の分類	略称	定義
1	手術のみ	手	外科的治療、鏡視下の治療
2	内視鏡手術のみ	内	消化管内視鏡、気管支内視鏡などによる治療
3	手術+内視鏡手術	手+内	1+2の治療
4	放射線治療のみ	放	放射線治療のみ
5	薬物治療のみ	薬	化学療法（分子標的薬含む）、内分泌療法
6	放射線治療+薬物治療	放+薬	4+5
7	薬物治療+その他の治療	薬+他	5+その他の治療（PEIT、RFA、免疫療法等）
8	手術/内視鏡+放射線治療	手/内+放	1/2のいずれか、または両方+4
9	手術/内視鏡+薬物治療	手/内+薬	1/2のいずれか、または両方+5
10	手術/内視鏡+その他の治療	手/内+他	1/2のいずれか、または両方+その他の治療
11	手術/内視鏡+放射線治療+薬物治療	手/内+放+薬	1/2のいずれか、または両方+4+5
12	その他の組み合わせ	他	上記の組み合わせにないもの
13	治療なし	なし	治療なし（経過観察）

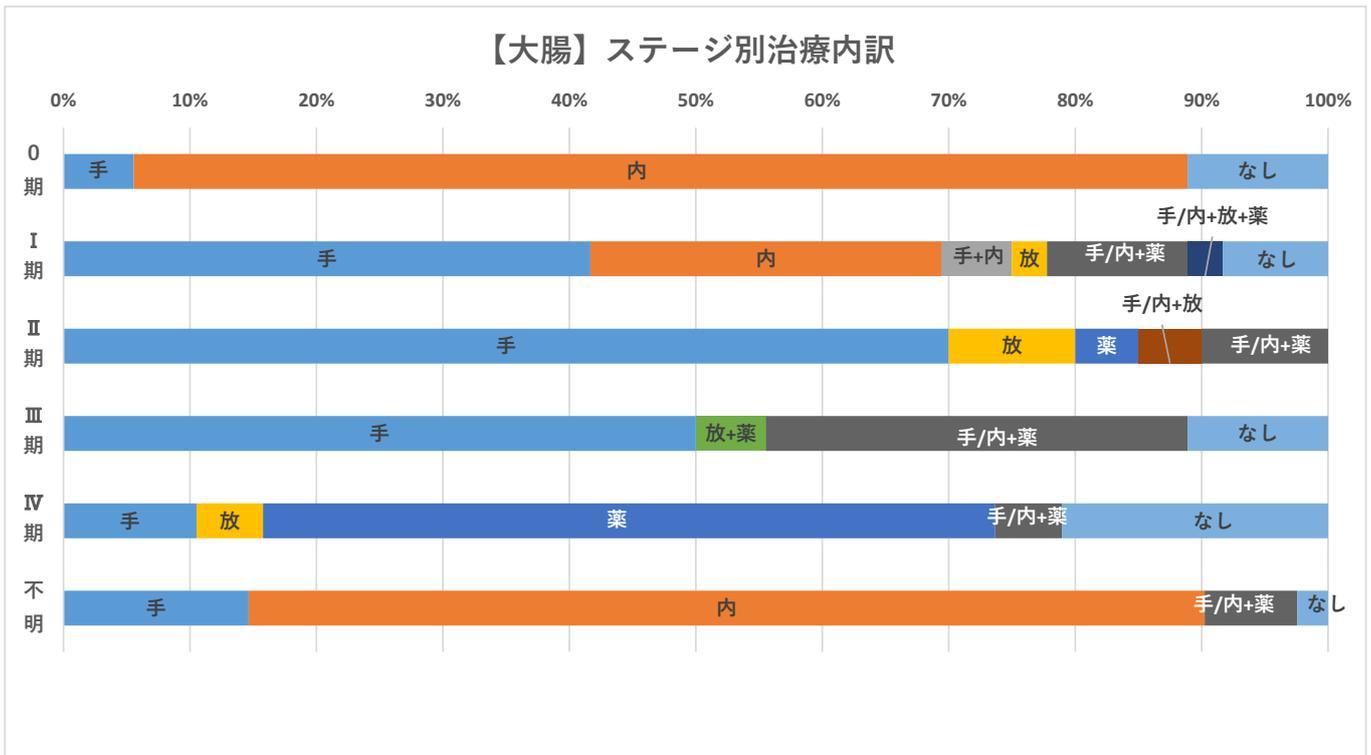
* 登録数上位10位



手術・・・開腹手術・腹腔鏡手術

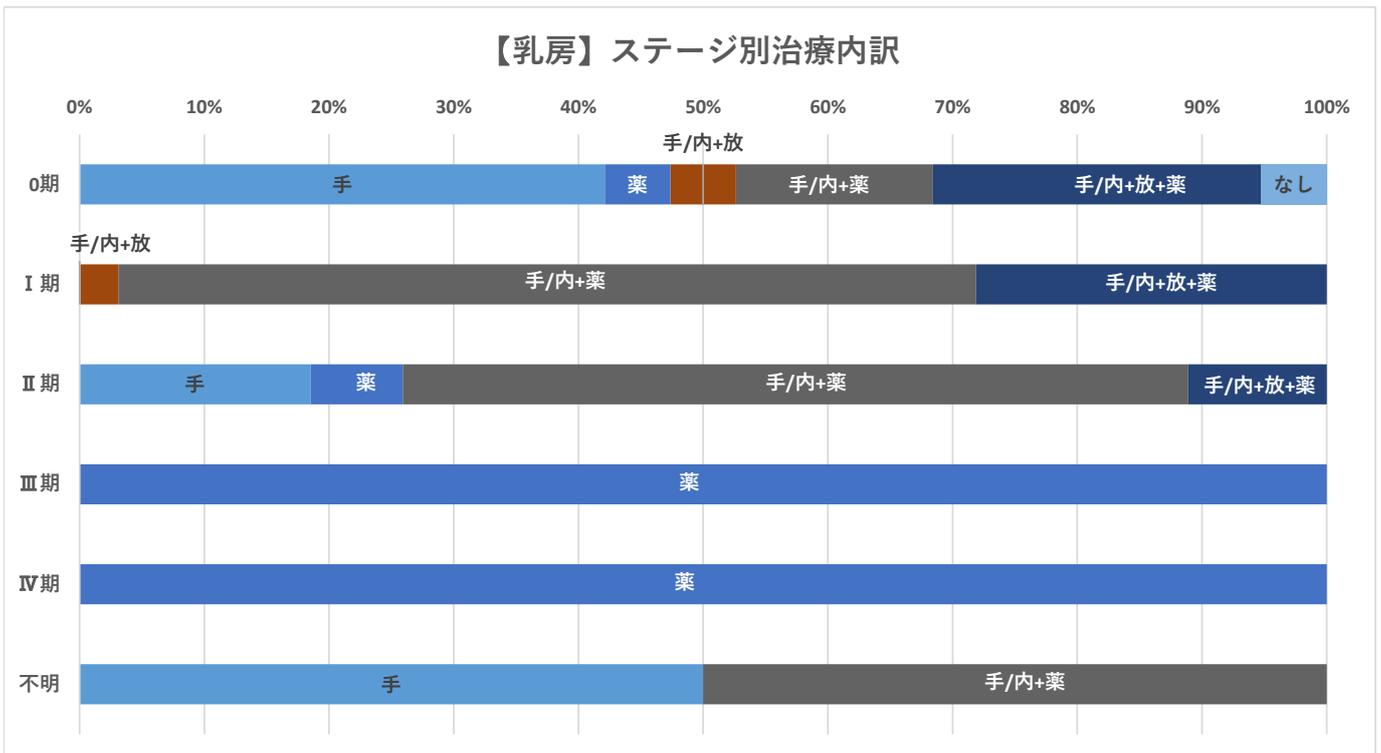
薬物治療・・・内分泌療法・化学療法

【大腸】ステージ別治療内訳



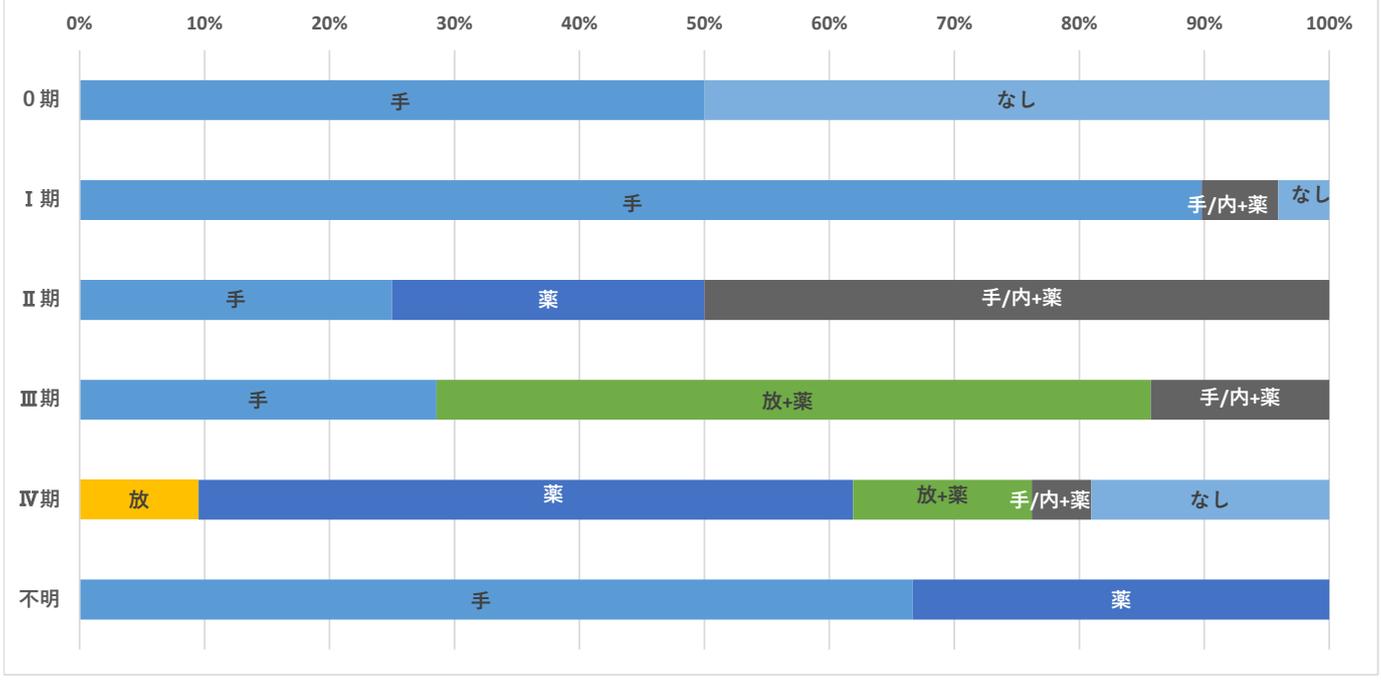
内視鏡手術・・・粘膜下層剥離術（ESD）、粘膜切除（EMR）など
 手術・・・開腹手術・腹腔鏡手術

【乳房】ステージ別治療内訳



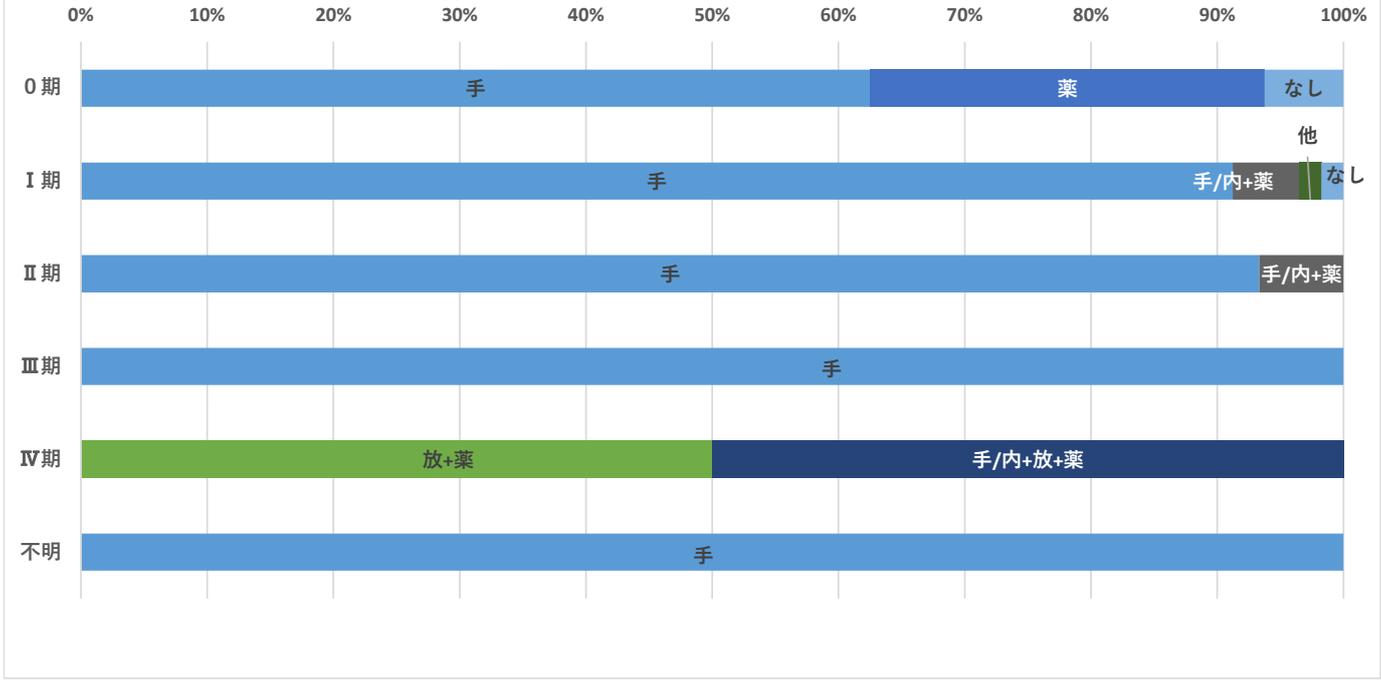
薬物治療・・・内分泌療法・化学療法

【肺】ステージ別治療件数



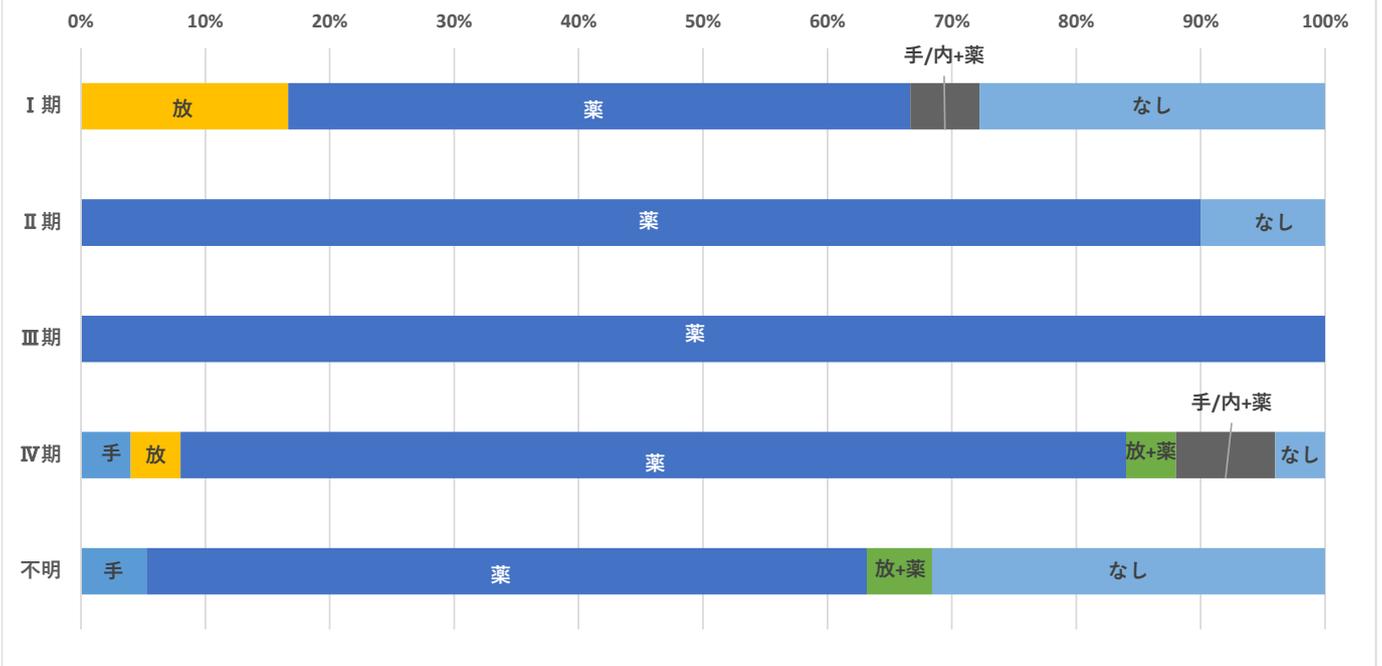
手術・・・開胸手術・胸腔鏡手術

【皮膚】ステージ別治療内訳



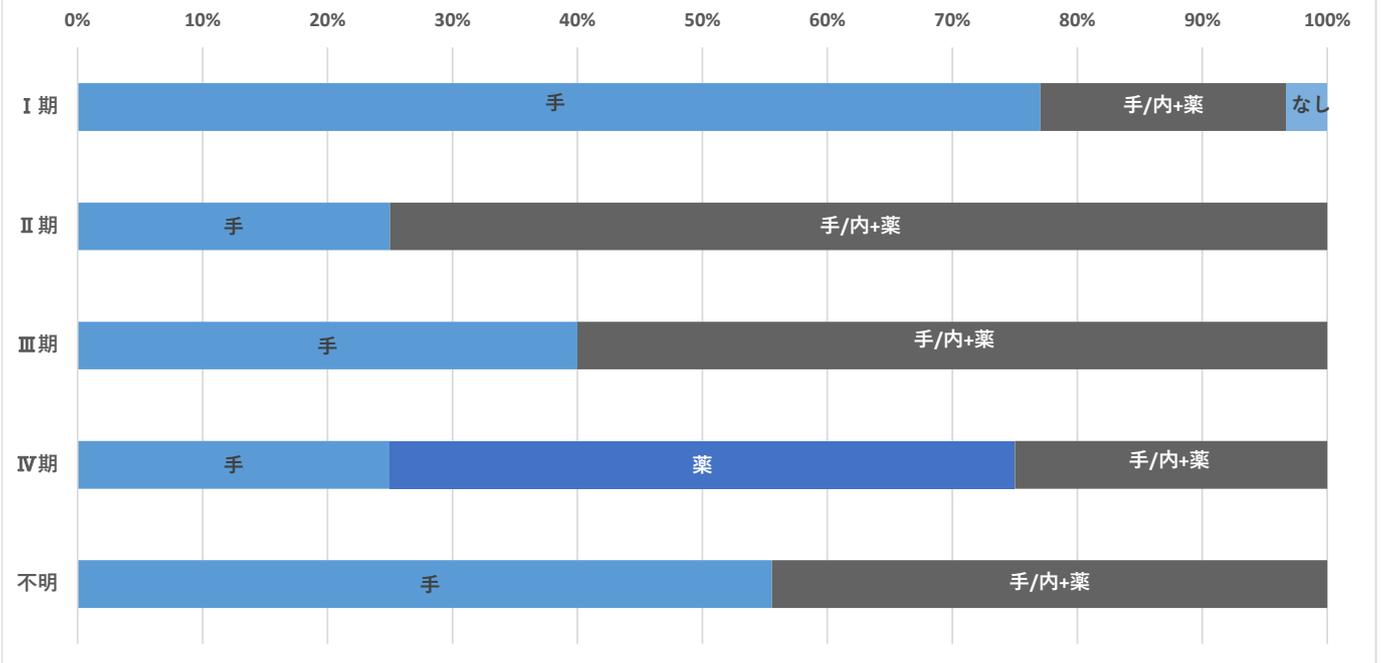
その他の治療・・・免疫療法

【悪性リンパ腫】ステージ別治療内訳



薬物治療・・・内分泌療法・化学療法

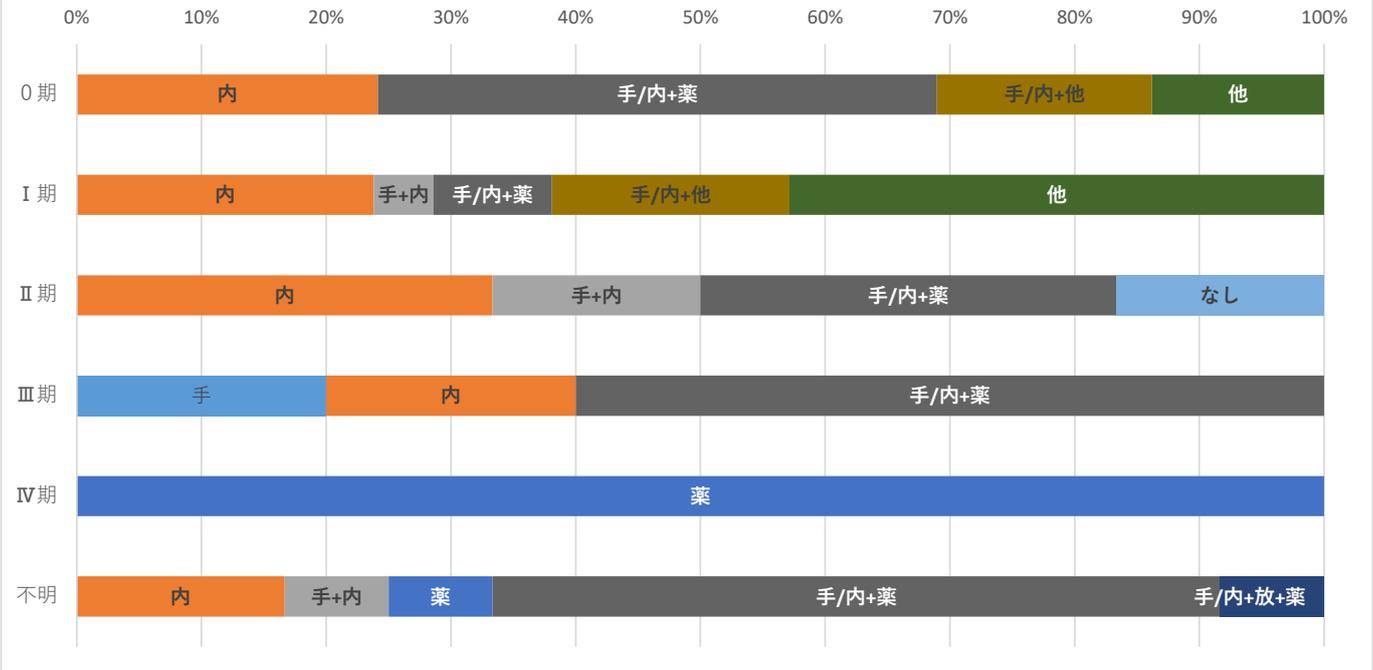
【子宮体部】ステージ別治療内訳



手術・・・開腹手術・腹腔鏡手術

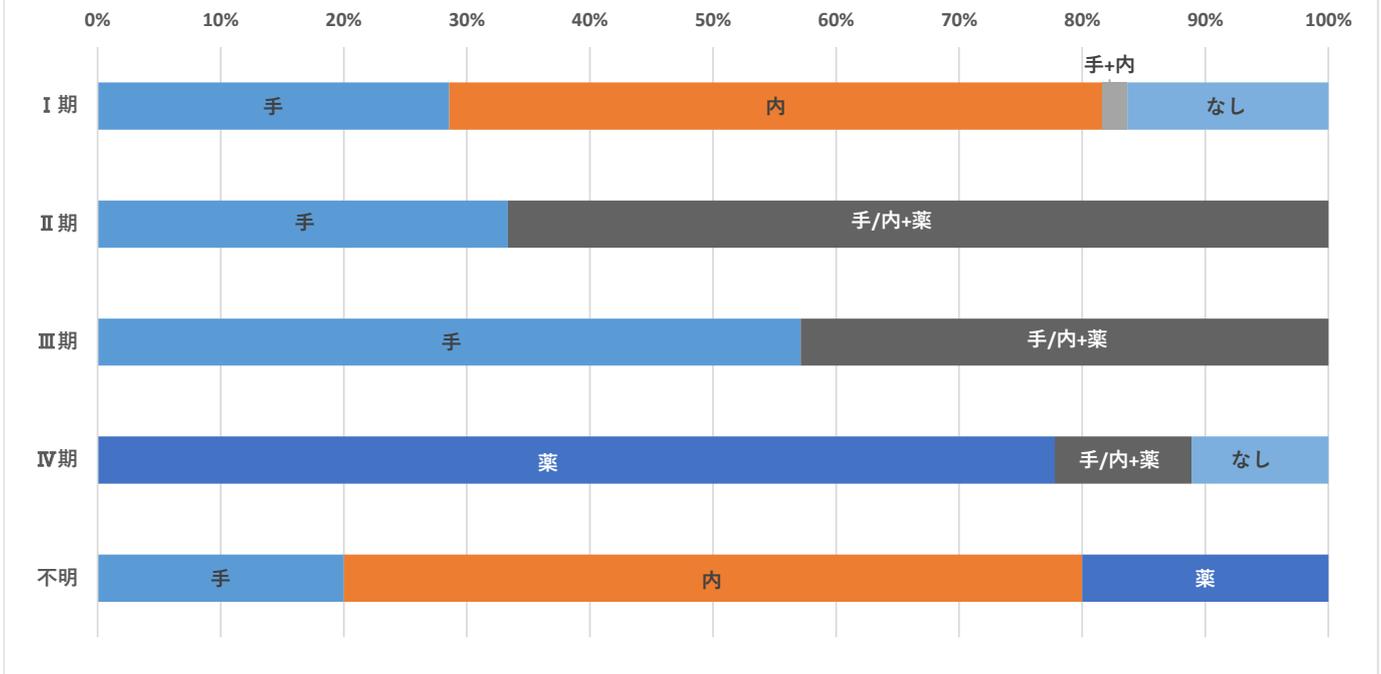
薬物治療・・・内分泌療法・化学療法

【膀胱】ステージ別治療内訳



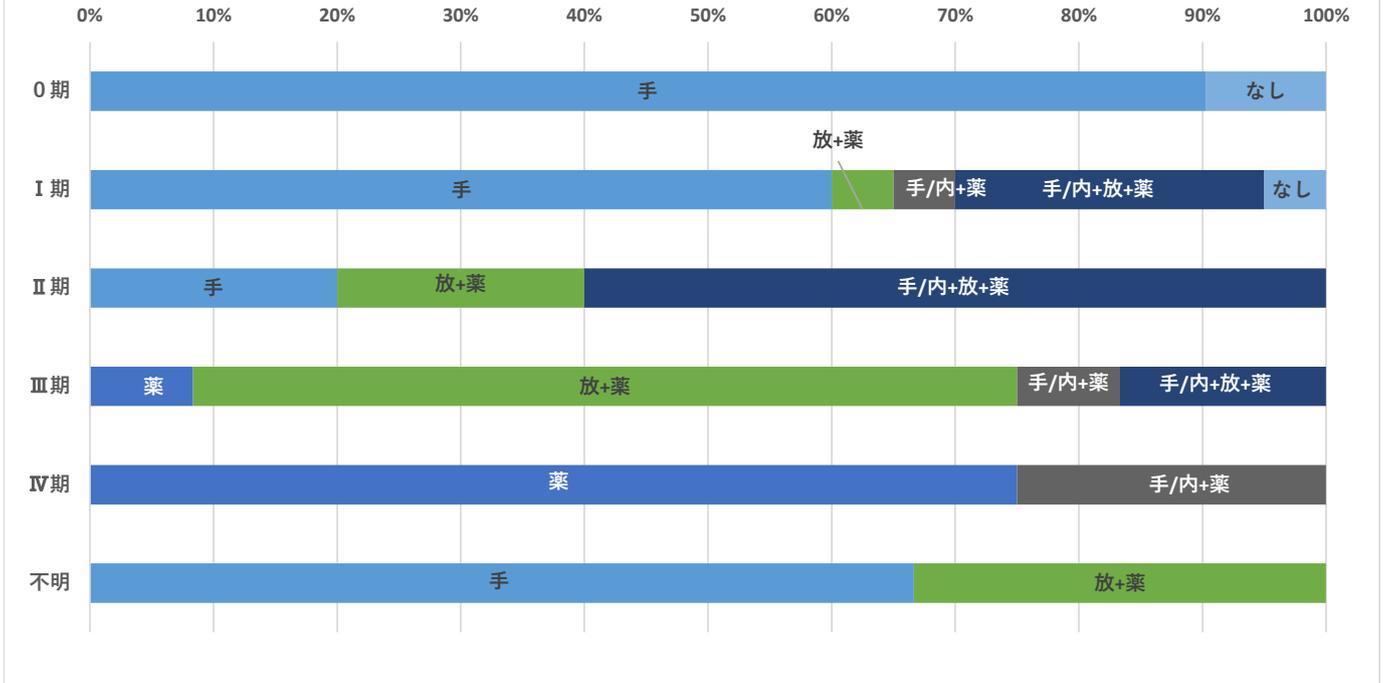
- 内視鏡手術・・・TUR-BT（経尿道的膀胱腫瘍切除）など
- 手術・・・開腹手術・腹腔鏡手術
- 薬物治療・・・化学療法
- その他・・・BCG療法など

【胃】ステージ別治療内訳



- 内視鏡手術・・・粘膜下層剥離術（ESD）、粘膜切除（EMR）など
- 手術・・・開腹手術・腹腔鏡手術

【子宮頸部】ステージ別治療内訳



手術・・・開腹手術（子宮全摘、円錐切除など）・腹腔鏡手術

5. 部位別治療件数

当院登録件数上位10部位

部位	治療方法														(再掲) 「外科手術 鏡視下」	合計	全体 に対する 割合
	手術		外科手術または鏡視下手 術＋内視鏡手術	放射線治療のみ	薬物治療のみ	放射線治療＋薬物治療	薬物治療＋その他の治 療	手術＋放射線治療	手術＋薬物治療	手術＋その他の治療	手術＋放射線治療＋薬 物治療	その他の組み合わせ	治療なし				
	外科手術のみ	内視鏡手術のみ															
口腔・咽頭	22	6	0	8	2	18	0	1	2	0	2	0	2	27[0]	63	4.1%	
食道	0	7	0	4	2	7	0	0	1	0	0	0	4	8	33	2.2%	
胃	19	29	1	0	8	0	0	0	6	0	0	0	11	26[21]	74	4.9%	
大腸	45	56	2	4	13	1	0	1	14	0	1	0	12	63[55]	149	9.8%	
肝臓	11	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	4	1	11[4]	19	1.2%
胆嚢・胆管	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3[3]	5	0.3%
膵臓	1	0	0	0	10	0	1	0	11	0	0	0	8	12[4]	31	2.0%	
鼻腔・副鼻腔	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	3[0]	6	0.4%	
喉頭	3	1	0	8	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3[0]	14	0.9%	
肺	50	0	0	2	13	7	0	0	7	0	0	0	7	57[51]	86	5.6%	
骨・軟部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0[0]	0	0.0%	
皮膚	82	0	0	0	5	1	0	0	4	0	1	1	2	87[0]	96	6.3%	
乳房	14	0	0	0	7	0	0	2	43	0	17	0	1	76[0]	84	5.5%	
子宮頸部	52	0	0	1	4	10	0	0	3	0	10	0	5	65[5]	85	5.6%	
子宮体部	55	0	0	0	2	0	0	0	23	0	0	0	2	78[25]	82	5.4%	
卵巣（腹膜女・卵管含む）	20	0	0	0	4	0	0	1	27	0	0	0	2	48[2]	54	3.5%	
婦人科その他	4	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	5[1]	8	0.5%	
前立腺	47	0	0	7	63	1	0	0	2	0	0	0	21	49[49]	141	9.2%	
膀胱	1	17	3	0	3	0	0	0	26	9	1	14	1	11[11]	75	4.9%	
腎	26	0	0	0	2	0	0	0	2	1	0	18	12	29[27]	61	4.0%	
腎盂尿管	10	0	0	0	9	0	0	0	3	0	0	0	0	13[13]	22	1.4%	
泌尿器科その他	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6[0]	6	0.4%	
脳・中枢神経系	18	0	0	0	3	0	0	1	1	0	11	0	21	31[4]	55	3.6%	
甲状腺	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	26[0]	30	2.0%	
悪性リンパ腫	2	0	0	4	64	2	0	0	3	0	0	0	14	5[0]	89	5.8%	
多発性骨髄腫	0	0	0	0	26	1	0	0	0	0	0	0	4	0[0]	31	2.0%	
白血病	0	0	0	0	34	1	0	0	0	0	0	0	7	0[0]	42	2.8%	
他の造血器腫瘍	0	0	0	0	24	2	0	0	0	0	0	0	27	0[0]	53	3.5%	
原発不明	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1[0]	3	0.2%	
その他	17	0	0	1	1	1	0	5	1	0	1	0	1	24[13]	28	1.8%	
計	536	116	6	41	302	57	3	12	181	10	45	41	175	760 [289]	1,525	100.0%	

その他・・・唾液腺・小腸・胸腺・胸膜・副腎・原発不明（頭部リンパ節）等

＜治療方法の解説＞

手術...外科手術、鏡視下手術、内視鏡手術のいずれかを施行

外科手術...開胸手術、開腹手術など

鏡視下手術...腹腔鏡または胸腔鏡を用いて最小限の皮膚切開で行う手術

薬物治療...化学療法、免疫療法、内分泌療法など

その他の治療...TAE、PEIT、凍結療法など